

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 586 事業名 消防庁舎等管理事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		消防費	
	項		消防費	
	目		消防費	
	大事業		消防事業	
事項		消防庁舎等管理事業		

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	2	消防・救急救助体制の充実
施策	2	消防力の充実
取組	1	消防活動拠点の整備

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	消防総務課	嶋本 智行 (426-0119)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	災害時、地域の防災拠点としての機能を最大限に発揮できるように、消防庁舎の整備を行う。	消防庁舎の施設、設備、機器等の整備、修繕及び維持管理（機械修繕、所々修繕、火災保険等の加入、管理の委託（設備点検、エレベーター点検等）、消防用地の借上）を行う。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		消防庁舎及び各消防署の施設、設備、機器等の整備、修繕及び維持管理（機械修繕料、所々修繕料、火災保険料、管理委託料、土地借上料）	消防庁舎及び各消防署の施設、設備、機器等の整備、修繕及び維持管理（機械修繕料、所々修繕料、火災保険料、管理委託料、土地借上料）	消防庁舎及び各消防署の施設、設備、機器等の整備、修繕及び維持管理（機械修繕料、所々修繕料、火災保険料、管理委託料、土地借上料）	消防庁舎及び各消防署の施設、設備、機器等の整備、修繕及び維持管理（機械修繕料、所々修繕料、火災保険料、管理委託料、土地借上料）	消防庁舎及び各消防署の施設、設備、機器等の整備、修繕及び維持管理（機械修繕料、所々修繕料、火災保険料、管理委託料、土地借上料）

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	5,976	10,148	13,117	14,039	12,217	13,723	33,978				
	伸び率 (%)	-	-	119.5%		-6.9%		178.1%			-100.0%	
	人件費	常勤職員	7,939	7,966	7,966	7,836	7,836	8,146	8,146			
		非常勤職員										
	小計	7,939	7,966	7,966	7,836	7,836	8,146	8,146				
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他			0	0	0		0					
一般財源(税等)	5,976	10,148	13,117	14,039	12,217	13,723	33,978					
所要人数	常勤職員	1.04	1.04	1.04	1.04	1.04	1.08	1.08				
	非常勤職員											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	施設維持管理実施数					年度目標値	11	11	11	11
						実績値	11	11	11	
	単位	施設	全体目標値	11	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
	機械修繕、所々修繕数					年度目標値				
						実績値	26	50	44	
単位	件	全体目標値		全体目標達成度						
成果指標	消防庁舎が正常に機能した日数					年度目標値	365	365	366	365
						実績値	365	365	366	
	単位	日	全体目標値	365	全体目標達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
						年度目標値				
						実績値				
	単位		全体目標値		全体目標達成度					
					年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	消防業務に必要な施設、設備、機器等の修繕及び維持管理を行うことで、消防力の充実に貢献できます。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	